

# 統計データ

## 人口編・産業編



令和7年2月

西淀川区役所 政策共創課



# 統計データ

## 目次

人口編 … P3

産業編 … P20



サザンカ  
西淀川区

区の花「サザンカ」



区のマスコット  
キャラクター  
「に～よん」

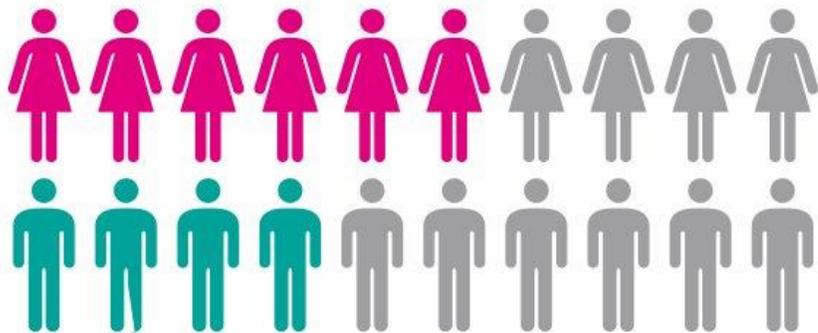
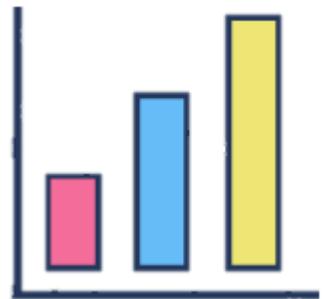


# 人口編

見てみましょう



各項目で  
大阪市全体分と  
西淀川区分を掲載



# 年齢別人口【大阪市全体】

## 年齢別人口（国勢調査年10月1日現在）

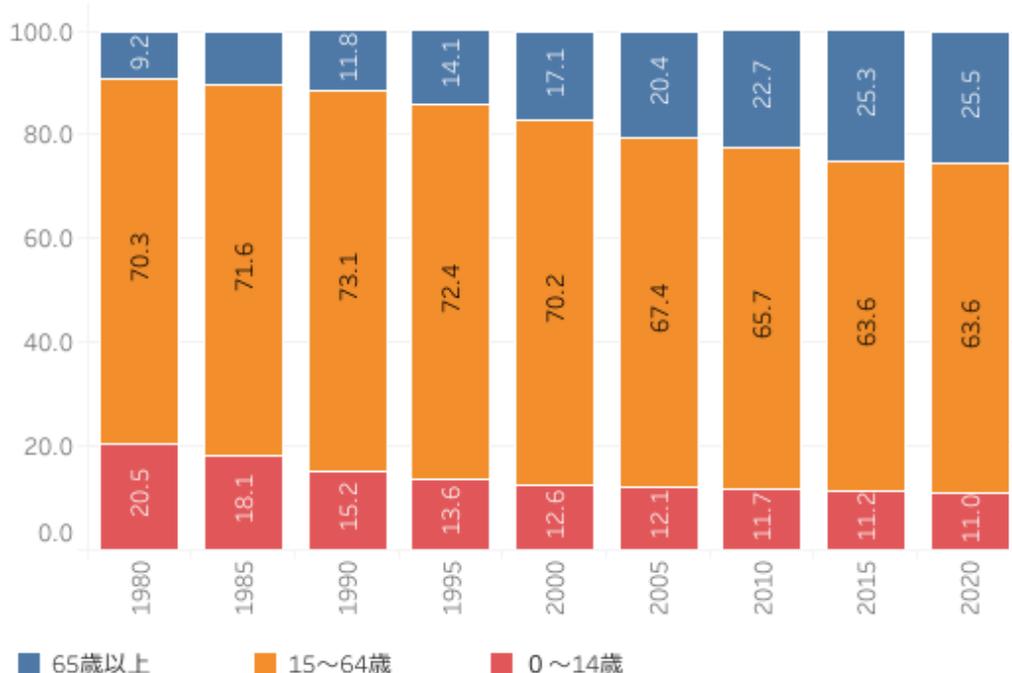
資料：国勢調査（総務省統計局）

総数	年齢区分	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
総数		2,648,180	2,636,249	2,623,801	2,602,421	2,598,774	2,628,811	2,665,314	2,691,185	2,752,412
0～14歳		543,395	476,809	395,242	351,859	327,851	315,143	308,093	295,298	290,649
15～64歳		1,858,443	1,885,539	1,902,348	1,878,744	1,822,803	1,749,851	1,734,432	1,682,798	1,686,757
65歳以上		243,581	271,339	306,199	365,883	444,740	529,692	598,835	668,698	676,821

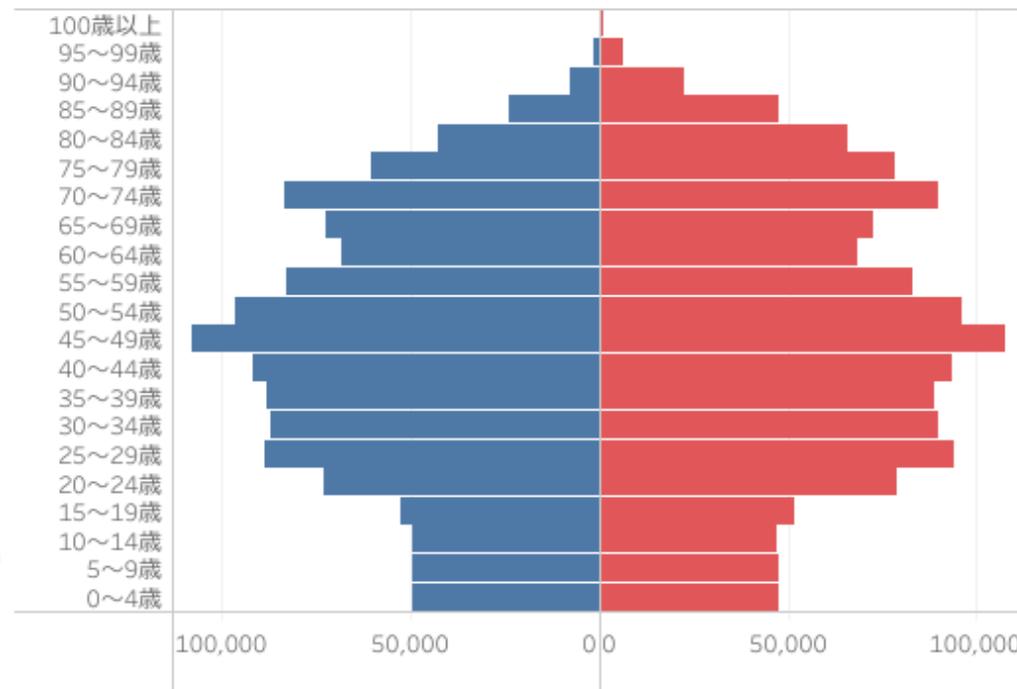
（単位：人）， 総数は年齢不詳を含むため内訳とは一致しない。

- 行政区
- 大阪市
- 北区
- 都島区
- 福島区
- 此花区
- 中央区
- 西区
- 港区
- 大正区
- 天王寺区
- 浪速区
- 西淀川区
- 淀川区
- 東淀川区
- 東成区
- 生野区
- 旭区
- 城東区
- 鶴見区
- 阿倍野区
- 住之江区
- 住吉区
- 東住吉区
- 平野区
- 西成区

年齢3区分別人口割合（単位：％） 年齢不詳を除いて算出。



人口ピラミッド（単位：人）



・ 大阪市全体の年齢別人口は、65歳以上の割合が増加傾向にあり、0～64歳の割合が減少傾向にある。

# 年齢別人口【西淀川区】

## 年齢別人口（国勢調査年10月1日現在）

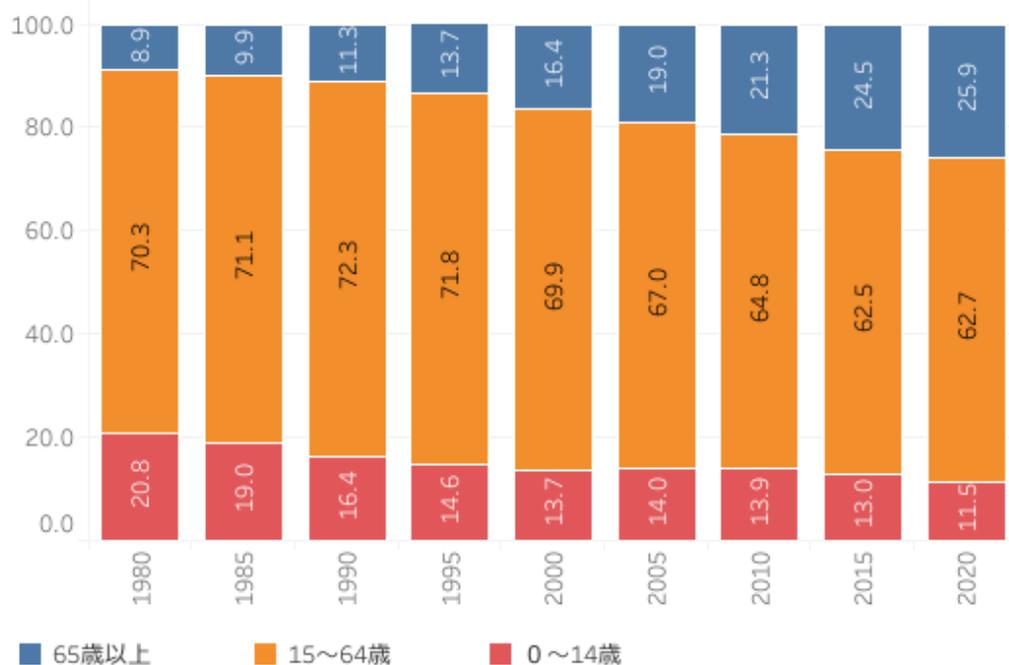
資料：国勢調査（総務省統計局）

総数	年齢区分	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
総数		90,691	92,411	95,047	91,134	92,465	95,662	97,504	95,490	95,864
行政区	0～14歳	18,833	17,518	15,509	13,259	12,617	13,321	13,488	12,339	10,842
	15～64歳	63,714	65,667	68,191	65,306	64,554	63,586	62,777	59,469	59,239
	65歳以上	8,071	9,163	10,620	12,429	15,156	17,994	20,685	23,332	24,429

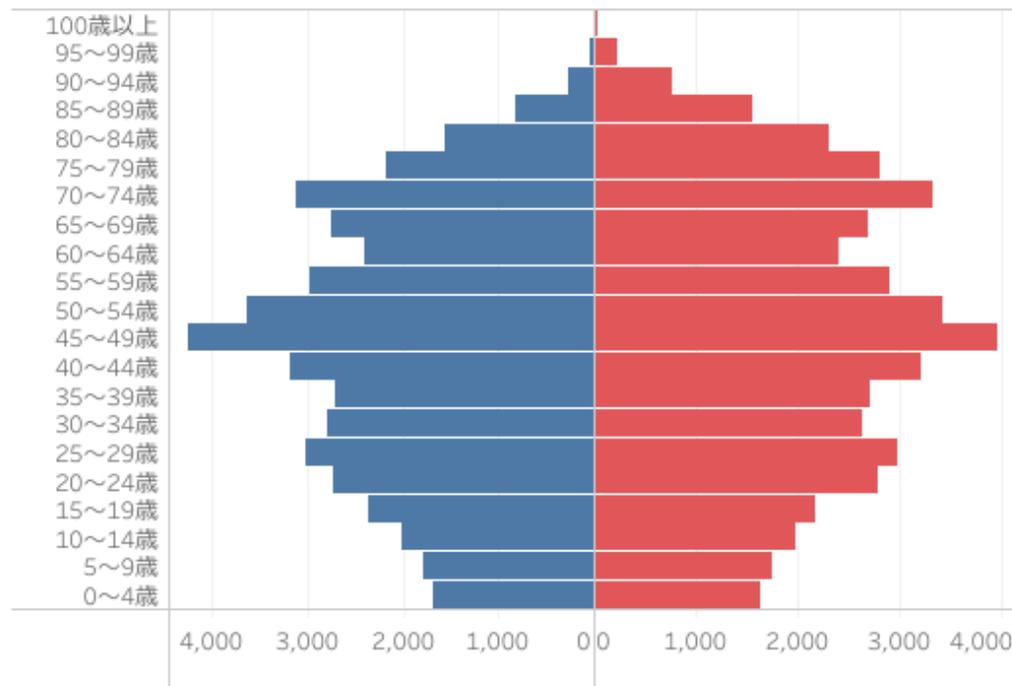
（単位：人）， 総数は年齢不詳を含むため内訳とは一致しない。

- 大阪市
- 北区
- 都島区
- 福島区
- 此花区
- 中央区
- 西区
- 港区
- 大正区
- 天王寺区
- 浪速区
- 西淀川区
- 淀川区
- 東淀川区
- 東成区
- 生野区
- 旭区
- 城東区
- 鶴見区
- 阿倍野区
- 住之江区
- 住吉区
- 東住吉区
- 平野区
- 西成区

年齢3区分別人口割合（単位：％） 年齢不詳を除いて算出。



人口ピラミッド（単位：人）



・西淀川区の年齢別人口は、65歳以上の割合が増加傾向にあり、0～64歳の割合が減少傾向にある。

# 人口推移（総人口）【大阪市全体】

総人口・昼間人口・外国人人口

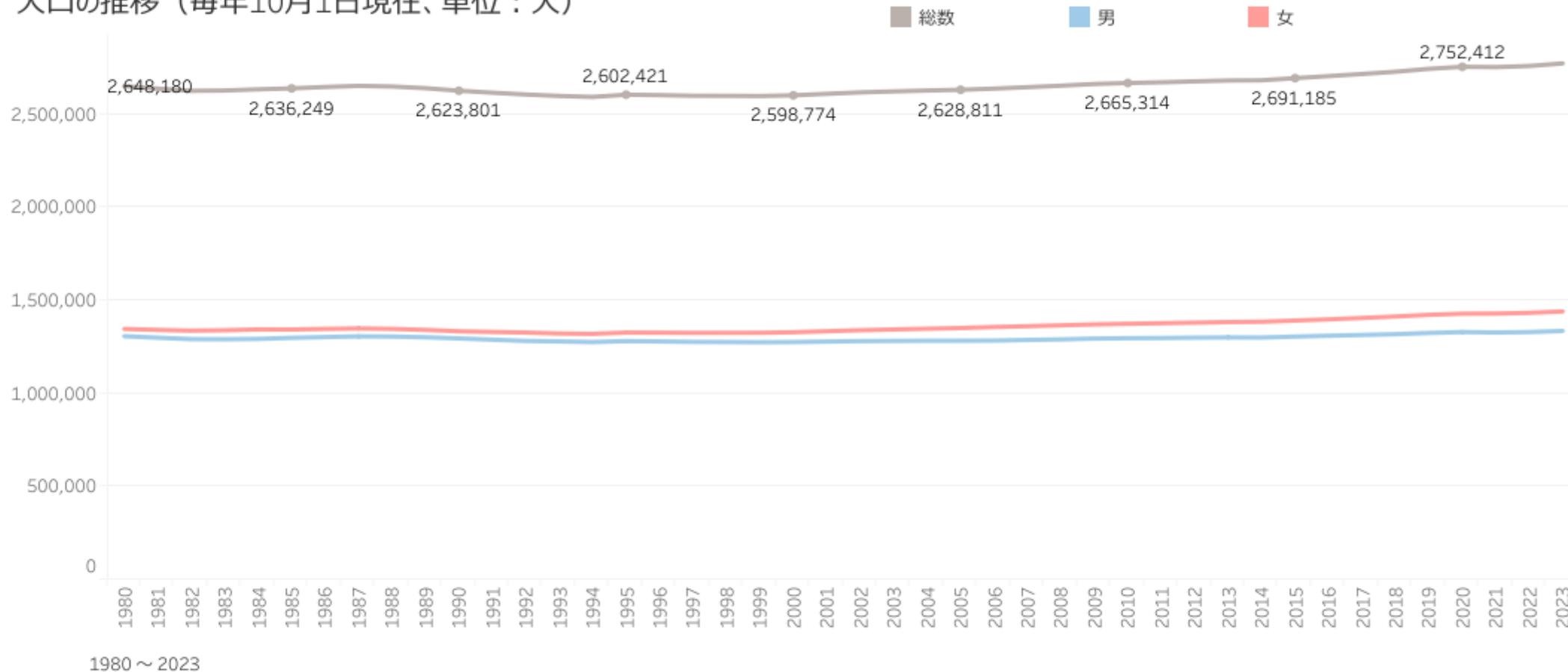
常住人口

昼間人口

外国人人口

すべて

人口の推移（毎年10月1日現在、単位：人）



行政区

- 大阪市
- 北区
- 都島区
- 福島区
- 此花区
- 中央区
- 西区
- 港区
- 大正区
- 天王寺区
- 浪速区
- 西淀川区
- 淀川区
- 東淀川区
- 東成区
- 生野区
- 旭区
- 城東区
- 鶴見区
- 阿倍野区
- 住之江区
- 住吉区
- 東住吉区
- 平野区
- 西成区

資料：国勢調査（総務省統計局）、大阪市推計人口（大阪市計画調整局）

・ 大阪市全体の人口推移（総人口）は、近年緩やかな増加傾向にある。

# 人口推移（総人口）【西淀川区】

総人口・昼間人口・外国人人口

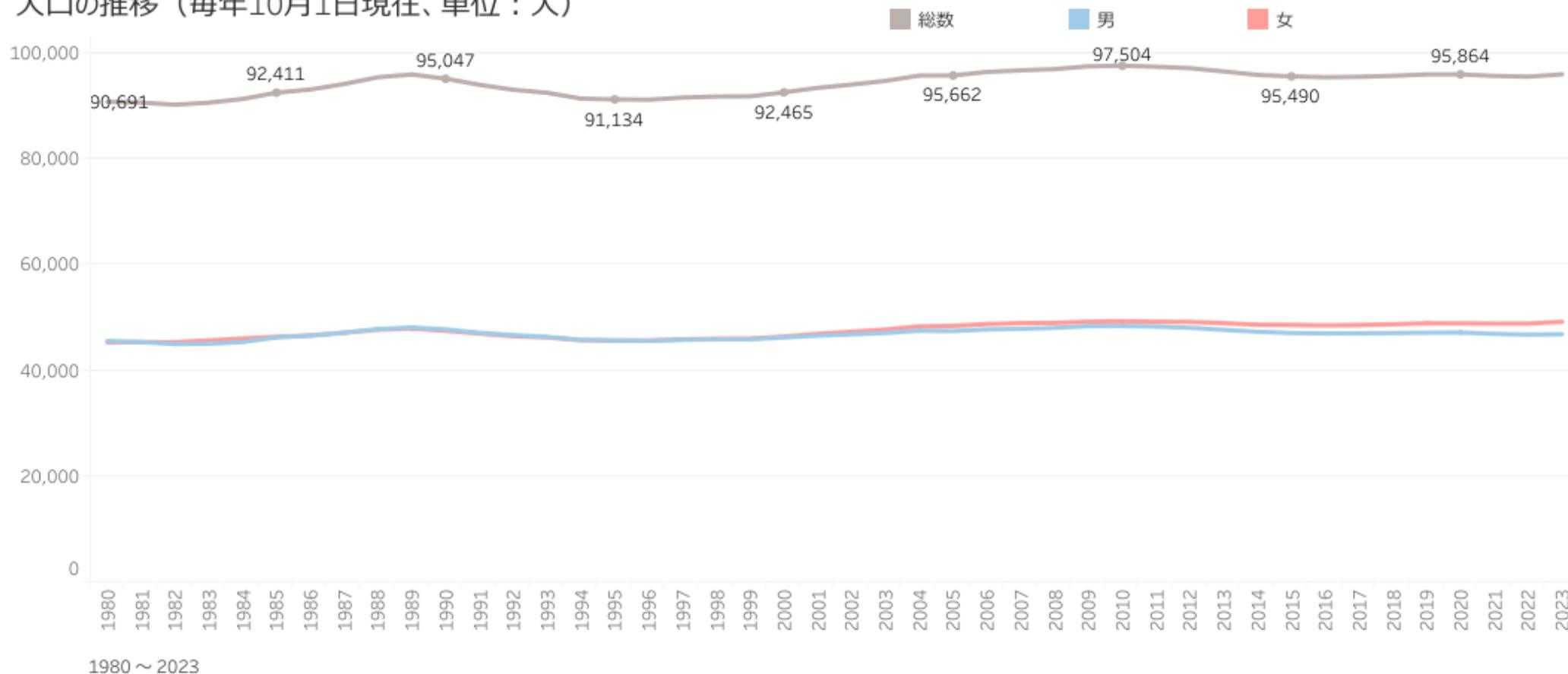
常住人口

昼間人口

外国人人口

すべて

人口の推移（毎年10月1日現在、単位：人）



- 行政区
- 大阪市
  - 北区
  - 都島区
  - 福島区
  - 此花区
  - 中央区
  - 西区
  - 港区
  - 大正区
  - 天王寺区
  - 浪速区
  - 西淀川区
  - 淀川区
  - 東淀川区
  - 東成区
  - 生野区
  - 旭区
  - 城東区
  - 鶴見区
  - 阿倍野区
  - 住之江区
  - 住吉区
  - 東住吉区
  - 平野区
  - 西成区

資料：国勢調査（総務省統計局）、大阪市推計人口（大阪市計画調整局）

・西淀川区の人口推移（総人口）は、増減を経ながら近年は横ばいの傾向にある。

# 人口推移（昼間人口）【大阪市全体】

昼間人口は、当該市町村の常住人口に当該市町村への流入人口と当該市町村からの流出人口を加減して算出した人口です。昼間人口は、常住人口（夜間人口）に対比しています。

総人口・昼間人口・外国人人口

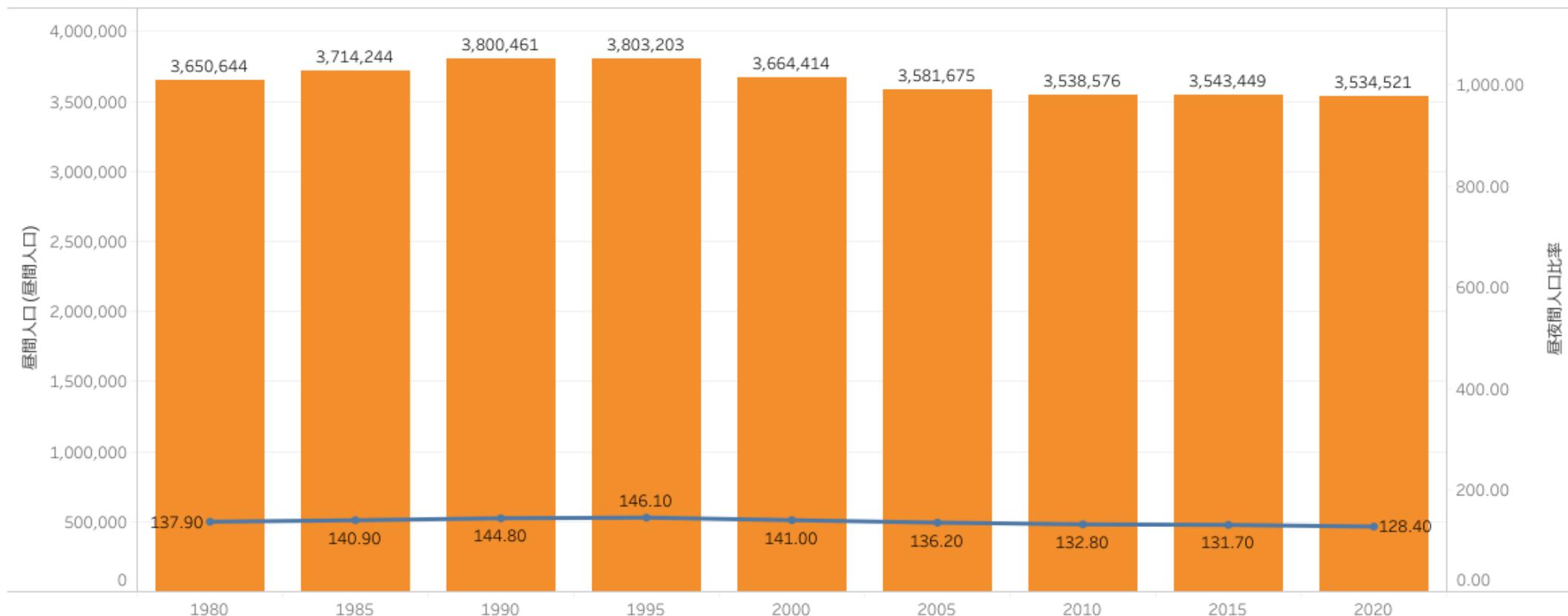
常住人口

昼間人口

外国人人口

- 行政区
- 大阪市
  - 北区
  - 都島区
  - 福島区
  - 此花区
  - 中央区
  - 西区
  - 港区
  - 大正区
  - 天王寺区
  - 浪速区
  - 西淀川区
  - 淀川区
  - 東淀川区
  - 東成区
  - 生野区
  - 旭区
  - 城東区
  - 鶴見区
  - 阿倍野区
  - 住之江区
  - 住吉区
  - 東住吉区
  - 平野区
  - 西成区

昼間人口及び昼夜間人口比率の推移（国勢調査年10月1日現在、単位：人、%）



資料：国勢調査（総務省統計局）

- ・ 大阪市全体の人口推移（昼間人口）は、1995年頃をピークに近年緩やかな減少傾向にある。
- ・ 昼夜間人口比率も同様の傾向にある。

# 人口推移（昼間人口）【西淀川区】

昼間人口は、当該市町村の常住人口に当該市町村への流入人口と当該市町村からの流出人口を加減して算出した人口です。昼間人口は、常住人口（夜間人口）に対比しています。

総人口・昼間人口・外国人人口

常住人口

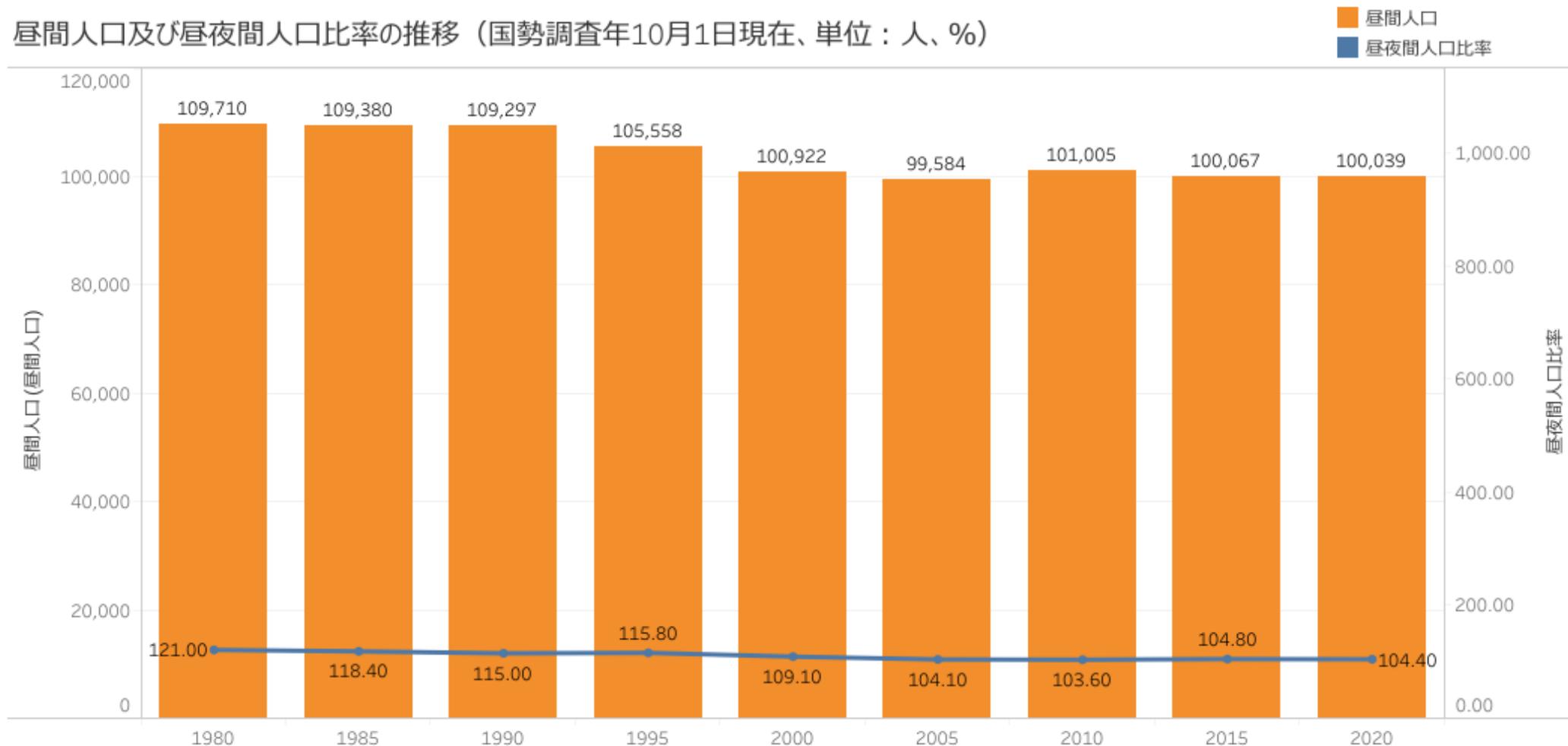
昼間人口

外国人人口

行政区

- 大阪市
- 北区
- 都島区
- 福島区
- 此花区
- 中央区
- 西区
- 港区
- 大正区
- 天王寺区
- 浪速区
- 西淀川区
- 淀川区
- 東淀川区
- 東成区
- 生野区
- 旭区
- 城東区
- 鶴見区
- 阿倍野区
- 住之江区
- 住吉区
- 東住吉区
- 平野区
- 西成区

昼間人口及び昼夜間人口比率の推移（国勢調査年10月1日現在、単位：人、%）



資料：国勢調査（総務省統計局）

- ・西淀川区の人口推移（昼間人口）は、1995年～2000年頃に減少し、近年は横ばいの傾向にある。
- ・昼夜間人口比率は、2000年～2005年頃に減少し、近年は横ばいの傾向にある。

# 人口推移（外国人人口）【大阪市全体】

総人口・昼間人口・外国人人口

常住人口

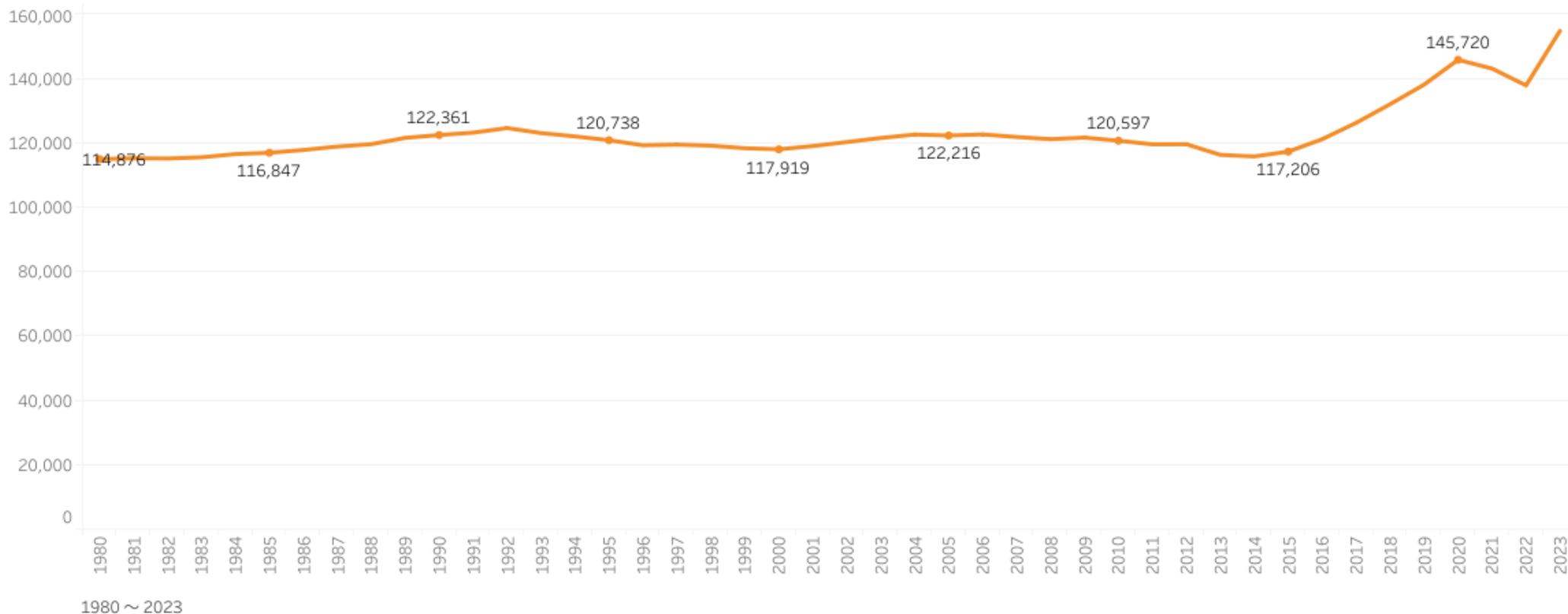
昼間人口

外国人人口

行政区

- 大阪市
- 北区
- 都島区
- 福島区
- 此花区
- 中央区
- 西区
- 港区
- 大正区
- 天王寺区
- 浪速区
- 西淀川区
- 淀川区
- 東淀川区
- 東成区
- 生野区
- 旭区
- 城東区
- 鶴見区
- 阿倍野区
- 住之江区
- 住吉区
- 東住吉区
- 平野区
- 西成区

外国人人口の推移（毎年3月31日現在、単位：人）



資料：住民基本台帳、外国人登録国籍別人員調査月報（いずれも大阪市民政局）

- ・ 大阪市全体の人口推移（外国人人口）は、2015年頃から増加傾向にある（2020年頃に大きく減少）。

# 人口推移（外国人人口）【西淀川区】

総人口・昼間人口・外国人人口

常住人口

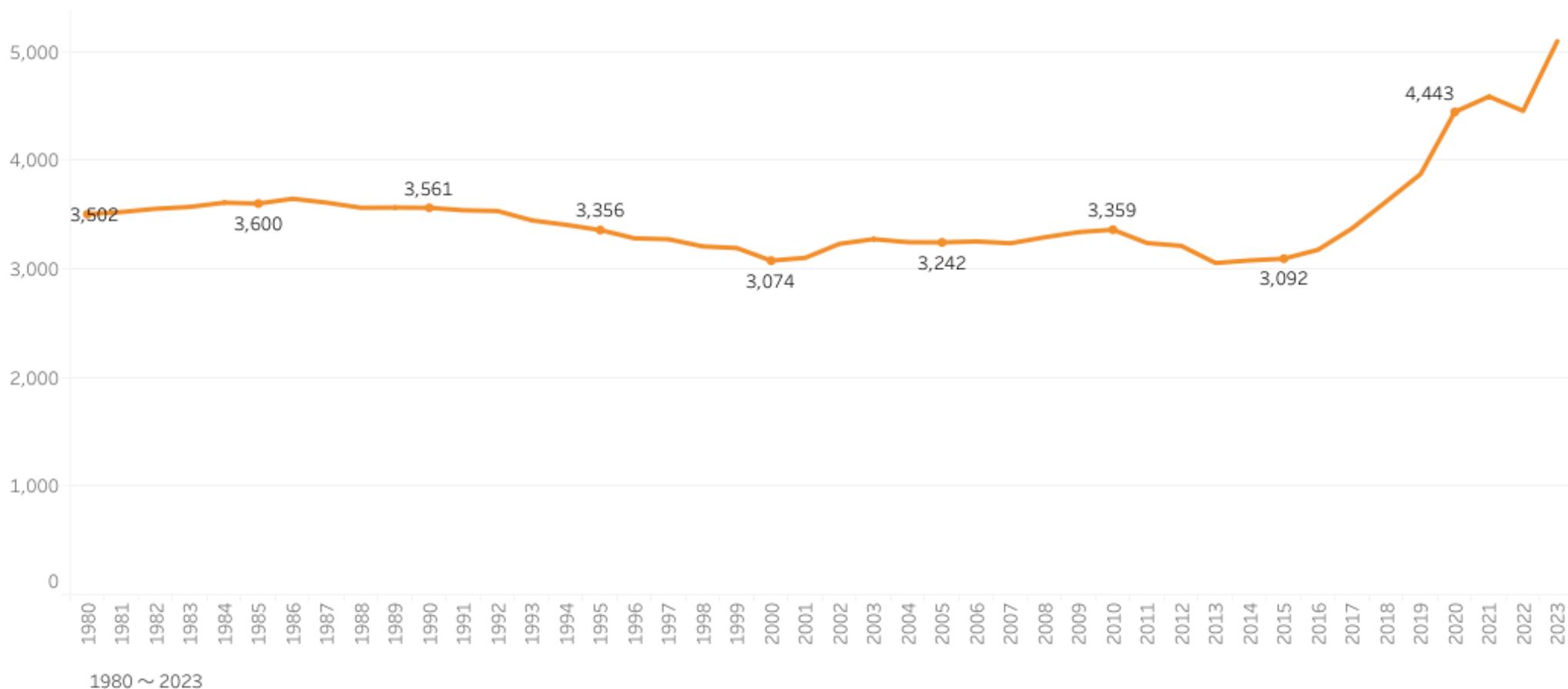
昼間人口

外国人人口

行政区

- 大阪市
- 北区
- 都島区
- 福島区
- 此花区
- 中央区
- 西区
- 港区
- 大正区
- 天王寺区
- 浪速区
- 西淀川区
- 淀川区
- 東淀川区
- 東成区
- 生野区
- 旭区
- 城東区
- 鶴見区
- 阿倍野区
- 住之江区
- 住吉区
- 東住吉区
- 平野区
- 西成区

外国人人口の推移（毎年3月31日現在、単位：人）



資料：住民基本台帳、外国人登録国籍別人員調査月報（いずれも大阪市民局）

・西淀川区の人口推移（外国人人口）は、2015年頃から増加傾向にあり、大阪市全体より増加カーブが大きい。

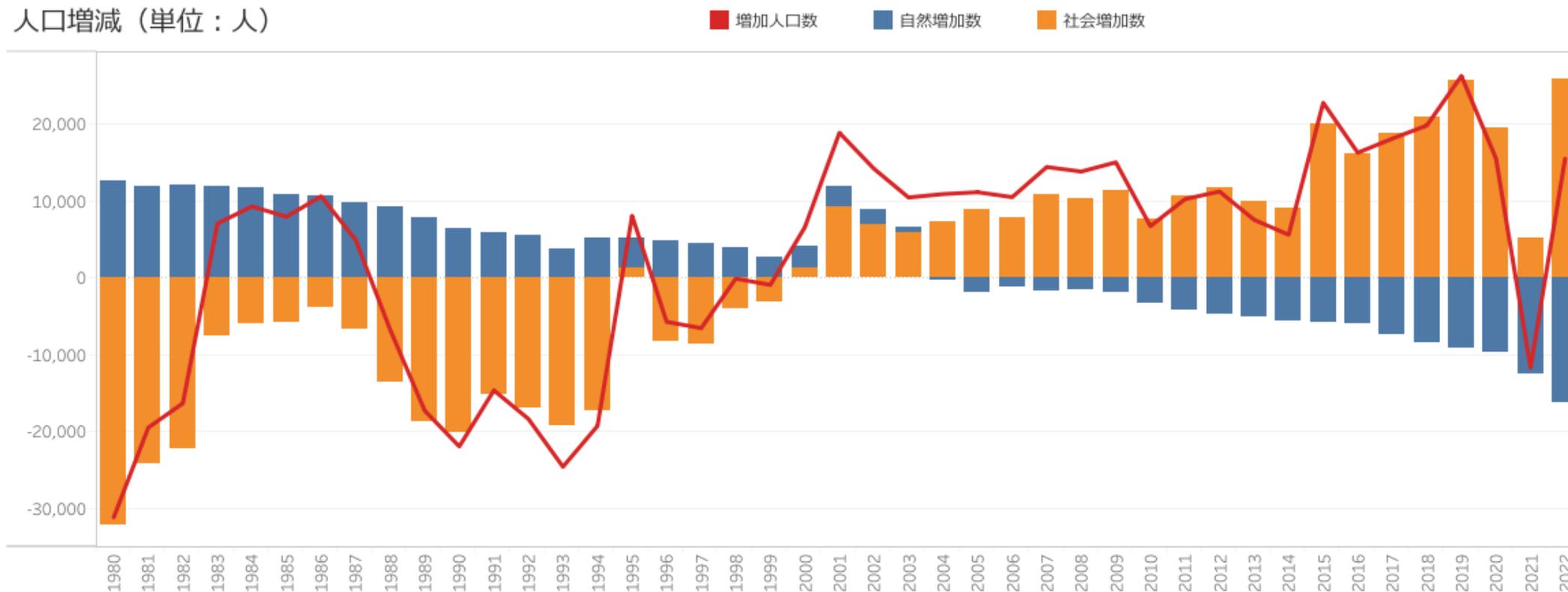
# 人口動態（人口増減）【大阪市全体】

自然動態…一定期間における出生及び死亡に伴う人口の動きをいう。  
 社会動態…一定期間における転入及び転出に伴う人口の動きをいう。

## 1年間（暦年）の人口異動



人口増減（単位：人）



1980年～2022年

資料：住民基本台帳（大阪市市民局）

- ・大阪市全体の人口動態（人口増減）は、2000年頃から増加傾向が続いている（2021年は大きく減少）。
- ・また、2000年～2004年頃に自然動態と社会動態がそれぞれ逆転している。

# 人口動態（人口増減）【西淀川区】

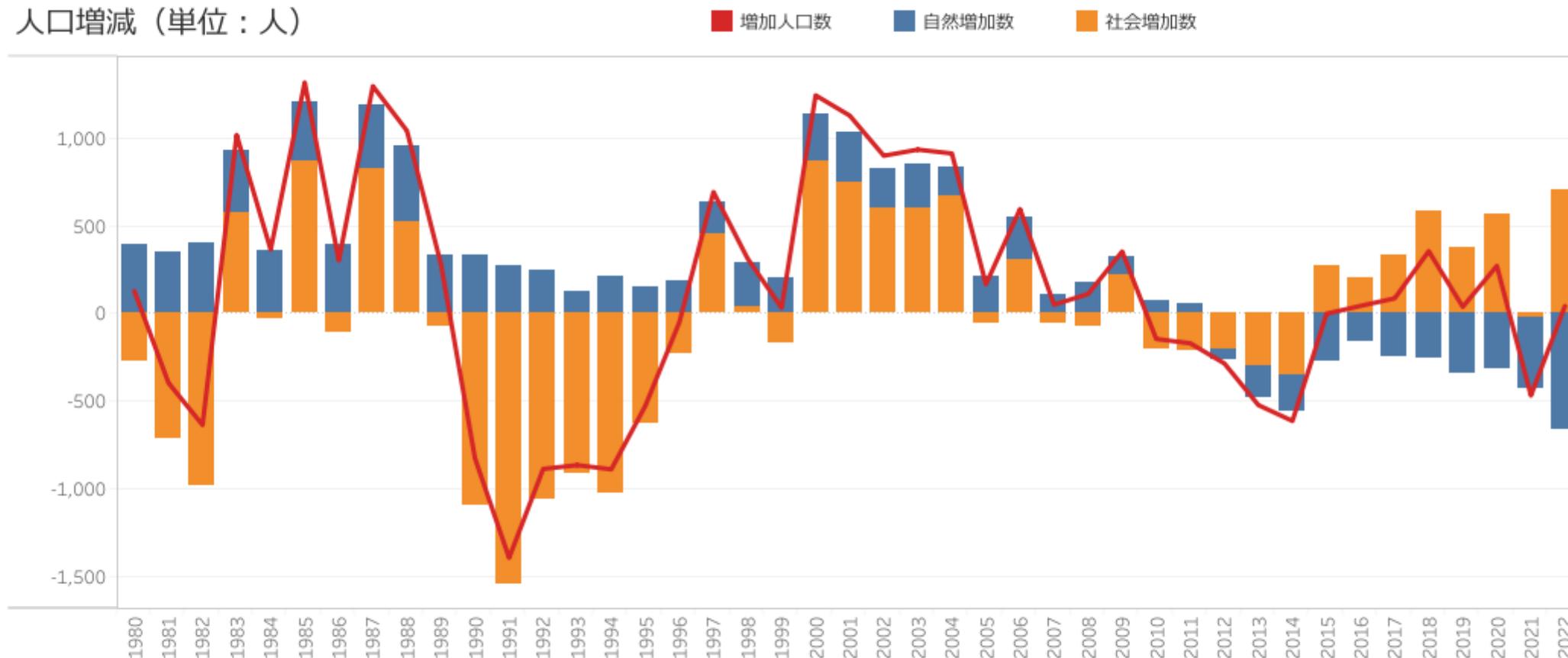
自然動態…一定期間における出生及び死亡に伴う人口の動きをいう。  
 社会動態…一定期間における転入及び転出に伴う人口の動きをいう。

## 1年間（暦年）の人口異動

人口増減      自然動態      社会動態

- 行政区
- 大阪市
  - 北区
  - 都島区
  - 福島区
  - 此花区
  - 中央区
  - 西区
  - 港区
  - 大正区
  - 天王寺区
  - 浪速区
  - 西淀川区
  - 淀川区
  - 東淀川区
  - 東成区
  - 生野区
  - 旭区
  - 城東区
  - 鶴見区
  - 阿倍野区
  - 住之江区
  - 住吉区
  - 東住吉区
  - 平野区
  - 西成区

人口増減（単位：人）



1980年～2022年

資料：住民基本台帳（大阪市民局）

・西淀川区の人口動態（人口増減）は、大きな増減を繰り返している傾向にある。

# 人口動態（自然動態）【大阪市全体】

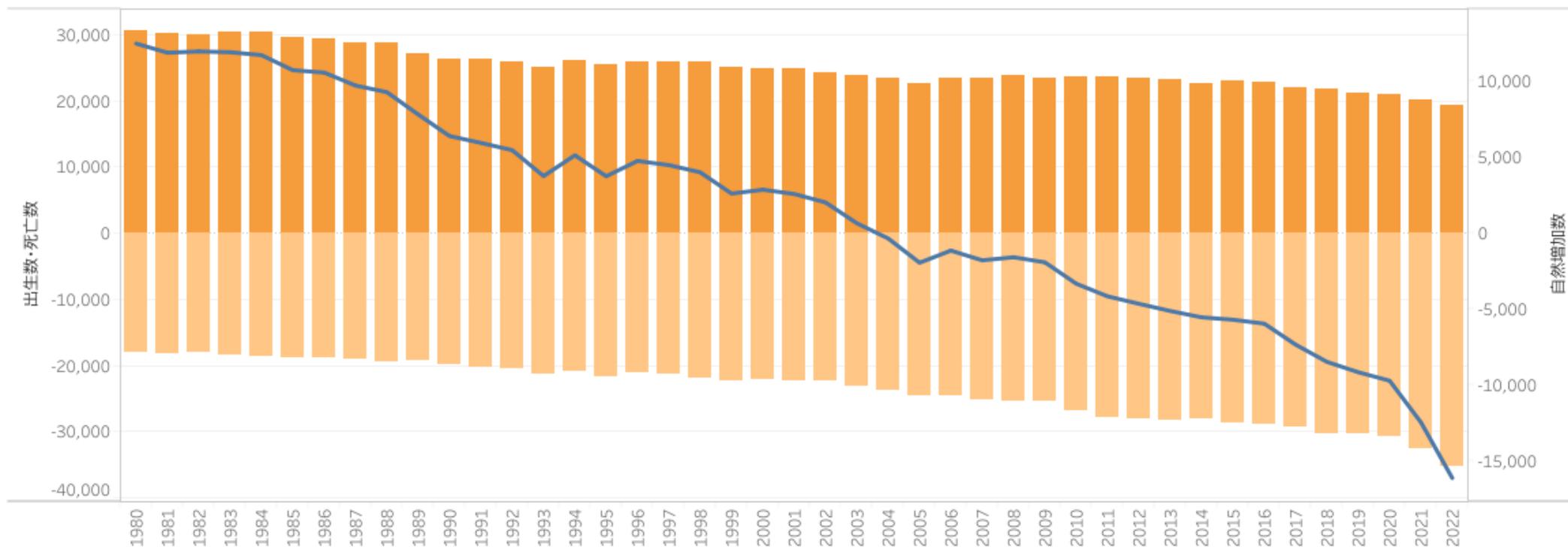
自然動態…一定期間における出生及び死亡に伴う人口の動きをいう。  
 社会動態…一定期間における転入及び転出に伴う人口の動きをいう。

## 1年間（暦年）の人口異動



- 行政区
- 大阪市
  - 北区
  - 都島区
  - 福島区
  - 此花区
  - 中央区
  - 西区
  - 港区
  - 大正区
  - 天王寺区
  - 浪速区
  - 西淀川区
  - 淀川区
  - 東淀川区
  - 東成区
  - 生野区
  - 旭区
  - 城東区
  - 鶴見区
  - 阿倍野区
  - 住之江区
  - 住吉区
  - 東住吉区
  - 平野区
  - 西成区

自然動態（単位：人）



1980年～2022年

資料：住民基本台帳（大阪市民政局）

・大阪市全体の人口動態（自然動態）は、2004年頃から死亡数が出生数を上回る傾向にあり、近年まで拡大継続している。

# 人口動態（自然動態）【西淀川区】

自然動態…一定期間における出生及び死亡に伴う人口の動きをいう。  
 社会動態…一定期間における転入及び転出に伴う人口の動きをいう。

## 1年間（暦年）の人口異動

人口増減

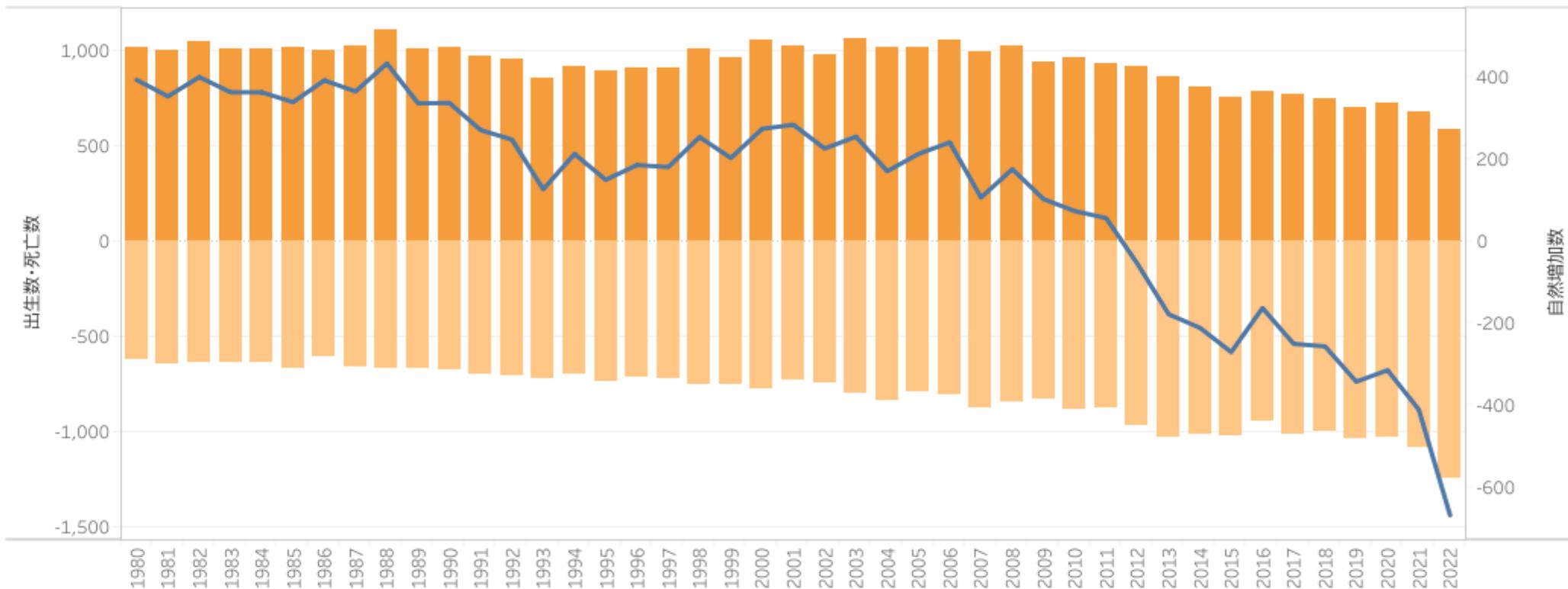
自然動態

社会動態

- 行政区
- 大阪市
  - 北区
  - 都島区
  - 福島区
  - 此花区
  - 中央区
  - 西区
  - 港区
  - 大正区
  - 天王寺区
  - 浪速区
  - 西淀川区
  - 淀川区
  - 東淀川区
  - 東成区
  - 生野区
  - 旭区
  - 城東区
  - 鶴見区
  - 阿倍野区
  - 住之江区
  - 住吉区
  - 東住吉区
  - 平野区
  - 西成区

自然動態（単位：人）

■ 自然増加数 ■ 出生数 ■ 死亡数



1980年～2022年

資料：住民基本台帳（大阪市民局）

・西淀川区の人口動態（自然動態）は、2012年頃から死亡数が出生数を上回り、近年まで継続している傾向にあり、特に2020年頃からその傾向が拡大している。

# 人口動態（社会動態）【大阪市全体】

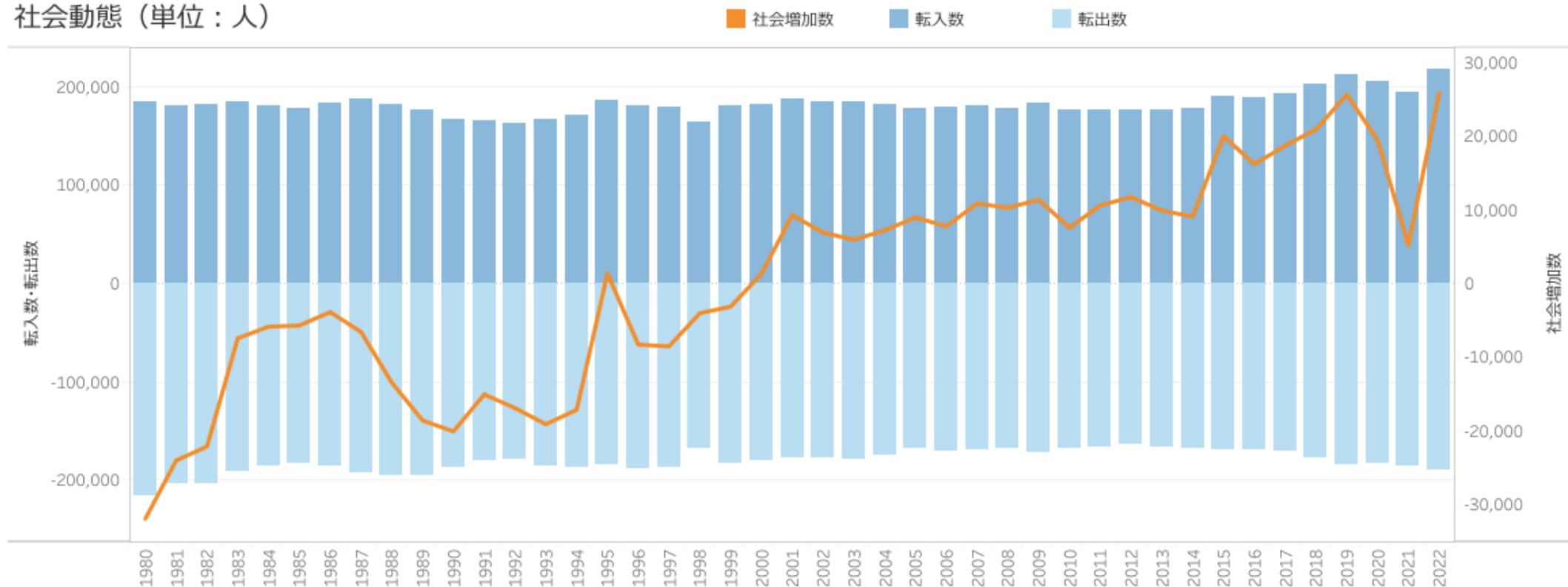
自然動態…一定期間における出生及び死亡に伴う人口の動きをいう。  
 社会動態…一定期間における転入及び転出に伴う人口の動きをいう。

## 1年間（暦年）の人口異動



- 行政区
- 大阪市
  - 北区
  - 都島区
  - 福島区
  - 此花区
  - 中央区
  - 西区
  - 港区
  - 大正区
  - 天王寺区
  - 浪速区
  - 西淀川区
  - 淀川区
  - 東淀川区
  - 東成区
  - 生野区
  - 旭区
  - 城東区
  - 鶴見区
  - 阿倍野区
  - 住之江区
  - 住吉区
  - 東住吉区
  - 平野区
  - 西成区

社会動態（単位：人）



1980年～2022年

資料：住民基本台帳（大阪市民政局）

- ・ 大阪市全体の人口動態（社会動態）は、2000年頃から転入数が転出数を上回る傾向が続いている。

# 人口動態（社会動態）【西淀川区】

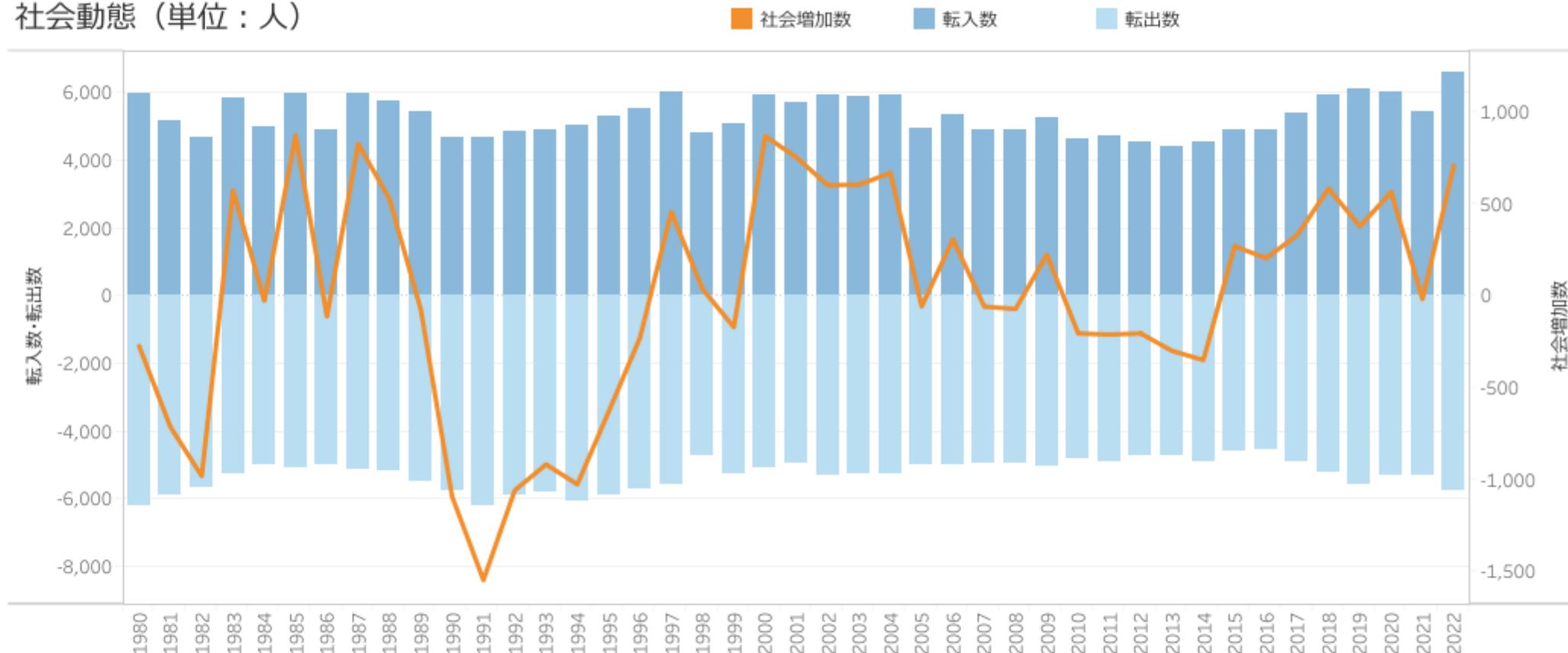
自然動態…一定期間における出生及び死亡に伴う人口の動きをいう。  
 社会動態…一定期間における転入及び転出に伴う人口の動きをいう。

## 1年間（暦年）の人口異動



- 行政区
- 大阪市
  - 北区
  - 都島区
  - 福島区
  - 此花区
  - 中央区
  - 西区
  - 港区
  - 大正区
  - 天王寺区
  - 浪速区
  - 西淀川区
  - 淀川区
  - 東淀川区
  - 東成区
  - 生野区
  - 旭区
  - 城東区
  - 鶴見区
  - 阿倍野区
  - 住之江区
  - 住吉区
  - 東住吉区
  - 平野区
  - 西成区

社会動態（単位：人）



1980年～2022年

資料：住民基本台帳（大阪市民局）

・西淀川区の人口動態（社会動態）は、2015年頃までは社会動態は増減を繰り返し、2015年頃からおおむね転入数が転出数を上回っている傾向にある。

# 世帯割合【大阪市全体】

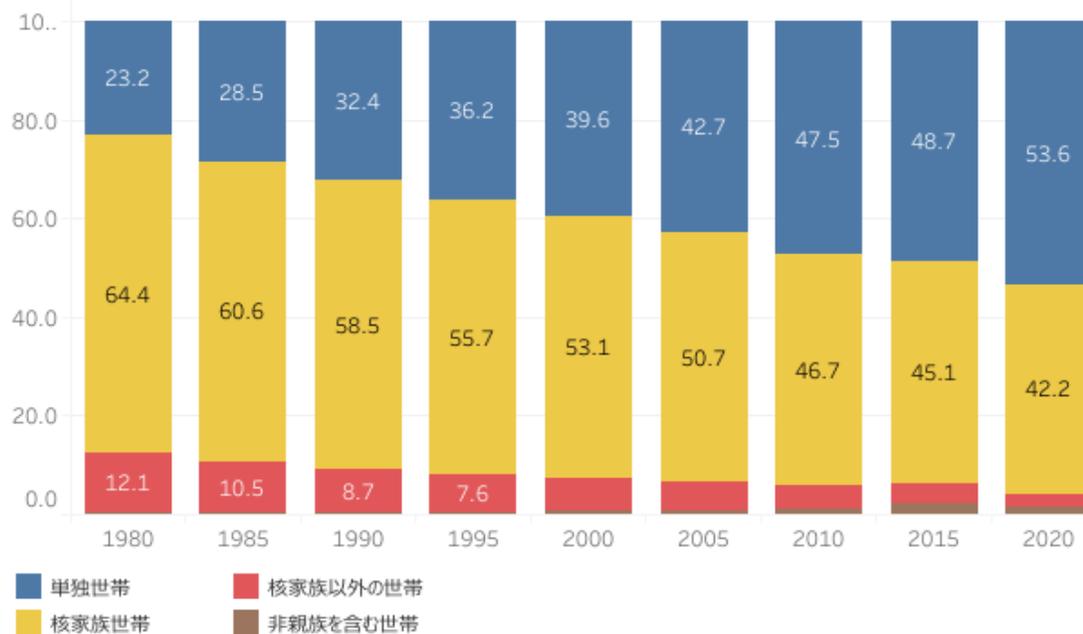
## 一般世帯（家族類型別）

資料：国勢調査（総務省統計局）

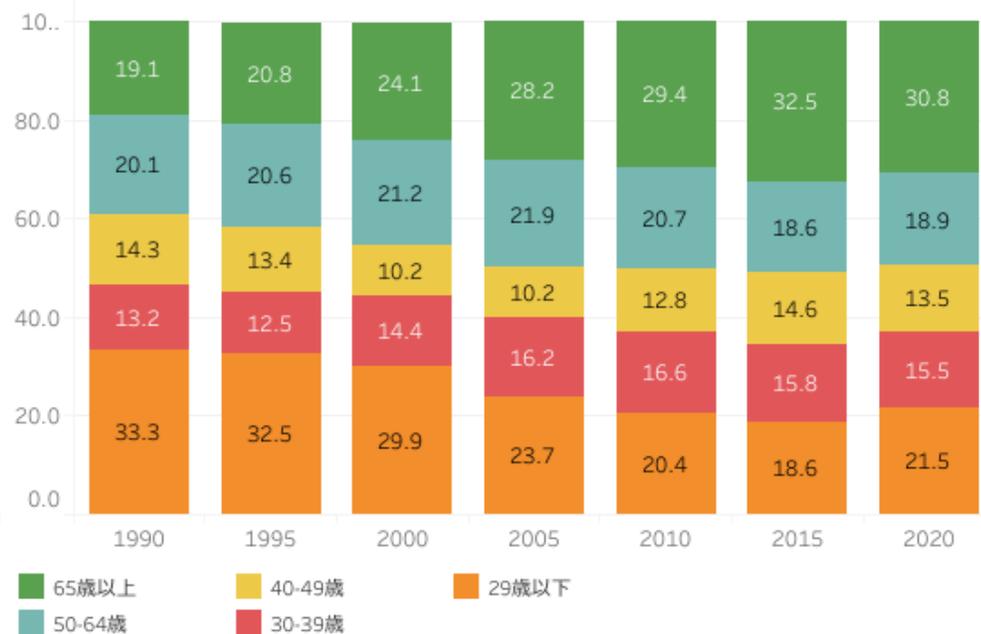
- 行政区
- 大阪市
- 北区
- 都島区
- 福島区
- 此花区
- 中央区
- 西区
- 港区
- 大正区
- 天王寺区
- 浪速区
- 西淀川区
- 淀川区
- 東淀川区
- 東成区
- 生野区
- 旭区
- 城東区
- 鶴見区
- 阿倍野区
- 住之江区
- 住吉区
- 東住吉区
- 平野区
- 西成区

	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
一般世帯数（単位：世帯）	924,504	961,116	1,014,881	1,084,456	1,149,047	1,203,312	1,311,523	1,352,413	1,464,615
一般世帯人員（単位：人）	2,615,257	2,600,479	2,565,454	2,560,076	2,553,178	2,552,621	2,626,777	2,649,619	2,699,126
1世帯あたり世帯人員（単位：人）	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12	2.00	1.96	1.84

【一般世帯】家族類型別割合（単位：％） 家族類型不詳を除いて算出。



【単独世帯のみ】年齢別割合（単位：％） 年齢不詳を除いて算出。1990年以降。



- ・ 大阪市全体の世帯割合のうち一般世帯は、単身世帯が継続して増加しており、それ以外は減少傾向にある。
- ・ 単身世帯の年齢別割合のうち、65歳以上の割合が増加傾向にあるが、2020年頃は29歳以下の割合が増えた。 18

# 世帯割合【西淀川区】

## 一般世帯（家族類型別）

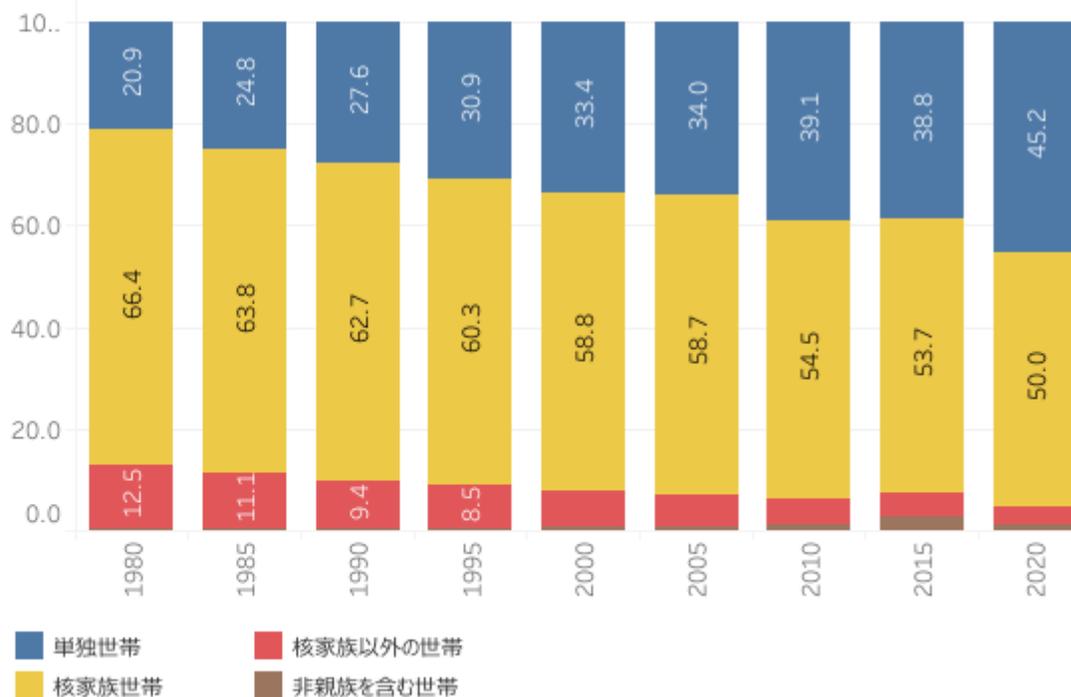
資料：国勢調査（総務省統計局）

行政区

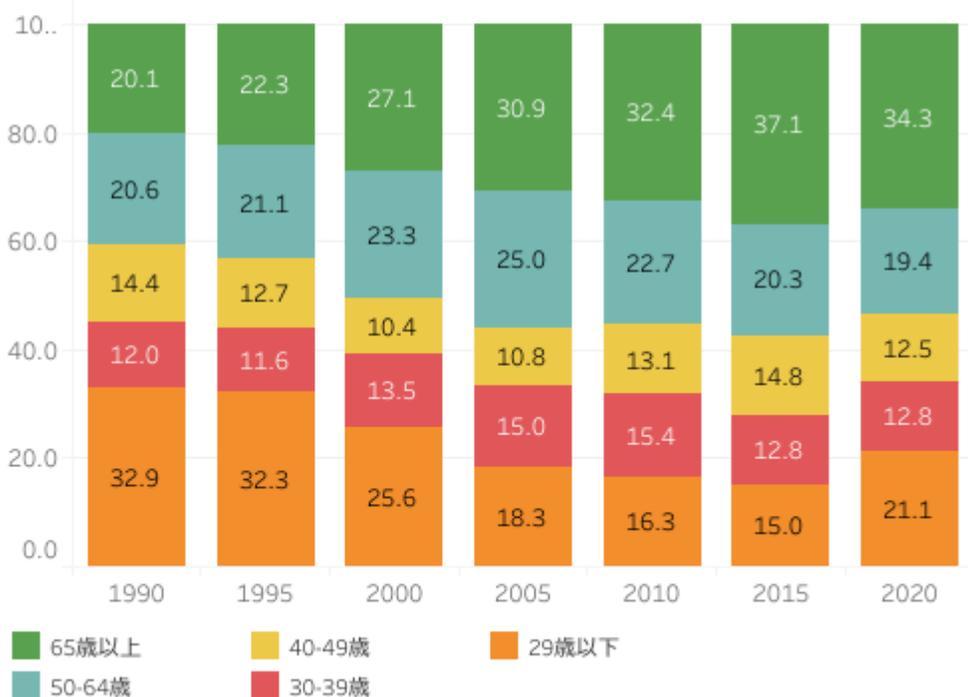
- 大阪市
- 北区
- 都島区
- 福島区
- 此花区
- 中央区
- 西区
- 港区
- 大正区
- 天王寺区
- 浪速区
- 西淀川区
- 淀川区
- 東淀川区
- 東成区
- 生野区
- 旭区
- 城東区
- 鶴見区
- 阿倍野区
- 住之江区
- 住吉区
- 東住吉区
- 平野区
- 西成区

	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
一般世帯数（単位：世帯）	31,043	32,351	35,056	35,967	38,466	40,087	43,580	42,889	46,221
一般世帯人員（単位：人）	90,187	91,900	94,016	90,757	91,878	94,043	96,606	94,343	94,167
1世帯あたり世帯人員（単位：人）	2.91	2.84	2.68	2.52	2.39	2.35	2.22	2.20	2.04

【一般世帯】家族類型別割合（単位：％） 家族類型不詳を除いて算出。



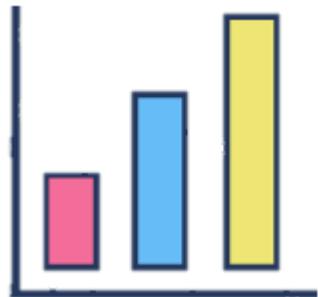
【単身世帯のみ】年齢別割合（単位：％） 年齢不詳を除いて算出。1990年以降。



- ・ 大阪市全体の世帯割合のうち一般世帯は、単身世帯が継続して増加しており、それ以外が減少傾向にある。
- ・ 単身世帯の年齢別割合のうち、65歳以上の割合が増加傾向にあるが、2020年頃は29歳以下の割合が増えた。

# 産業編

見てみましょう



# 産業概要資料①

大阪市経済戦略局「大阪の経済2024年版」より抜粋

## 7-5. 区別民営事業所数・従業者数【2021年】

事業所数を区別にみると、中央区(3.2万カ所)と北区(2.8万カ所)の合計で、市内の3分の1(6万カ所)を占めています。次いで、淀川区(1.2万カ所)、西区(1.1万カ所)が多くなっています。

従業者数を区別にみると、中央区(52.3万人)と北区(48.4万人)の合計で市内の4割以上(101万人)を占めています。次いで西区(16.3万人)、淀川区(16万人)が多くなっています。

区別の事業所数 (単位:カ所、%)

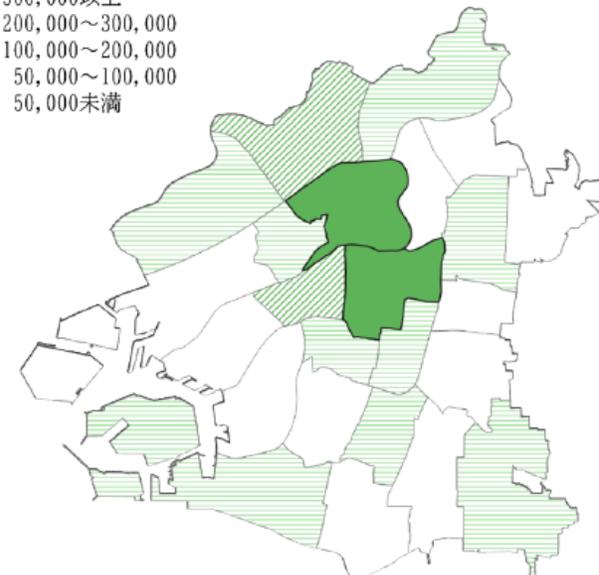
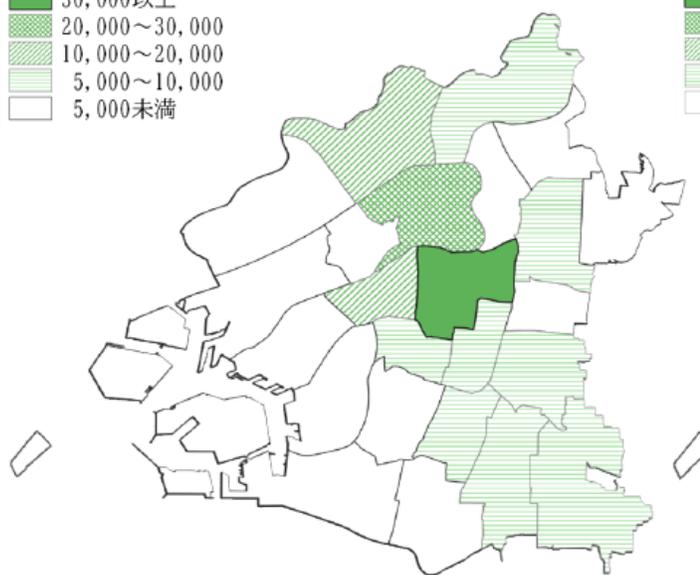
区名	事業所数	構成比
大阪市	177,184	100.0
北区	27,534	15.5
都島区	4,697	2.7
福島区	4,798	2.7
此花区	2,641	1.5
中央区	32,046	18.1
西区	11,368	6.4
港区	3,741	2.1
大正区	2,991	1.7
天王寺区	5,774	3.3
浪速区	5,224	2.9
西淀川区	4,015	2.3
淀川区	11,928	6.7
東淀川区	5,446	3.1
東成区	4,643	2.6
生野区	6,586	3.7
旭区	3,139	1.8
城東区	5,092	2.9
鶴見区	3,648	2.1
阿倍野区	5,347	3.0
住之江区	4,804	2.7
住吉区	4,818	2.7
東住吉区	5,389	3.0
平野区	7,305	4.1
西成区	4,210	2.4

区別の従業者数 (単位:人、%)

区名	従業者数	構成比
大阪市	2,308,581	100.0
北区	483,501	20.9
都島区	45,997	2.0
福島区	59,396	2.6
此花区	47,534	2.1
中央区	522,692	22.6
西区	163,111	7.1
港区	42,662	1.8
大正区	29,595	1.3
天王寺区	61,010	2.6
浪速区	71,682	3.1
西淀川区	50,691	2.2
淀川区	159,904	6.9
東淀川区	53,302	2.3
東成区	40,950	1.8
生野区	45,504	2.0
旭区	25,874	1.1
城東区	50,058	2.2
鶴見区	37,748	1.6
阿倍野区	56,055	2.4
住之江区	71,996	3.1
住吉区	43,851	1.9
東住吉区	42,910	1.9
平野区	64,909	2.8
西成区	37,649	1.6

(事業所)  
 30,000以上  
 20,000~30,000  
 10,000~20,000  
 5,000~10,000  
 5,000未満

(人)  
 300,000以上  
 200,000~300,000  
 100,000~200,000  
 50,000~100,000  
 50,000未満



(総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」)

# 産業概要資料②

大阪市経済戦略局「大阪の経済2024年版」より抜粋

## 7-7. 区内総生産(名目)と産業別内訳【2020年度】

都心部の中央区、北区、西区及び淀川区の4区で市内総生産のおよそ75%を占めています。産業別構成を区別に見ると、生野区、大正区、西淀川区、此花区では区内総生産のうち製造業が占める割合が高くなっており、それ以外の多くの区ではサービス業と卸・小売業が占める割合が高くなっています。

(単位:十億円)

区名	総生産	製造業	卸・小売業	サービス業	その他
大阪市	18,821	1,382	4,175	12,385	879
北区	5,441	141	1,206	3,889	205
都島区	181	13	27	127	14
福島区	374	15	154	184	21
此花区	283	131	28	115	10
中央区	6,052	115	1,335	4,328	275
西区	1,373	44	407	837	85
港区	211	35	25	135	17
大正区	160	79	20	54	8
天王寺区	292	14	46	222	10
浪速区	402	35	107	230	31
西淀川区	247	118	47	69	12
淀川区	1,279	126	338	749	66
東淀川区	208	53	36	109	11
東成区	146	39	53	47	7
生野区	140	70	24	41	5
旭区	78	10	15	48	5
城東区	321	42	29	236	14
鶴見区	145	55	33	45	12
阿倍野区	193	9	38	131	16
住之江区	695	96	80	505	15
住吉区	159	5	20	123	11
東住吉区	130	20	43	58	9
平野区	201	77	44	64	16
西成区	107	40	22	39	5

(大阪市「2020年度大阪市民経済計算」、総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」に基づき試算)

(注)公務を含まない“産業”のみの生産額。区別の数値は概算計画研究所による推計値。

「サービス業」は、電気・ガス・水道・廃棄物処理業、運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、金融・保険業、不動産業、専門・科学技術、業務支援サービス業、教育、保健衛生・社会事業、その他のサービスの合計。「その他」は、農林水産業、鉱業、建設業の合計。

## (参考) 区内総生産(名目)の主要産業別構成比

(単位:%)

区名	製造業	卸・小売業	サービス業	区名	製造業	卸・小売業	サービス業
大阪市	7.7	23.3	69.0	城東区	13.6	9.5	76.9
生野区	51.9	17.5	30.6	旭区	13.3	21.0	65.6
大正区	51.9	12.8	35.3	淀川区	10.4	27.9	61.8
西淀川区	50.4	20.2	29.4	浪速区	9.4	28.7	61.9
此花区	48.0	10.1	42.0	都島区	7.5	16.1	76.4
鶴見区	41.6	24.5	33.9	阿倍野区	5.2	21.3	73.5
平野区	41.6	23.8	34.7	天王寺区	5.1	16.2	78.7
西成区	39.6	21.8	38.6	福島区	4.3	43.7	52.0
東成区	28.2	37.8	34.0	西区	3.4	31.6	65.0
東淀川区	26.6	18.3	55.1	住吉区	3.2	13.6	83.2
港区	17.8	12.9	69.3	北区	2.7	23.0	74.3
東住吉区	16.7	35.3	48.0	中央区	2.0	23.1	74.9
住之江区	14.1	11.7	74.2				

(大阪市「2020年度大阪市民経済計算」、総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」に基づき試算)

# 産業概要資料③

大阪市経済戦略局  
「大阪の経済2024年版」より抜粋

## 7-10. 製造業の区別事業所数・従業者数【2021年】

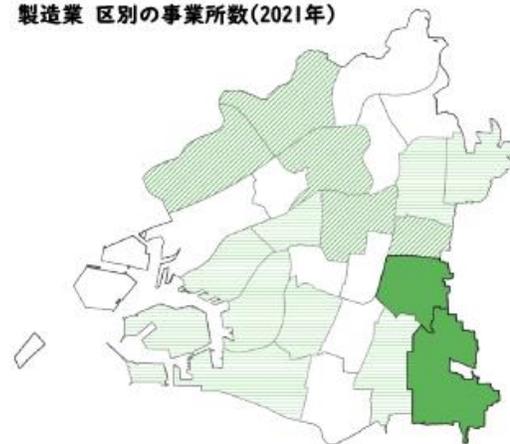
製造業は、事業所を区別にみると、中小規模工場が集積する東部（平野区、生野区など）で多くなっています。従業者数は、大規模工場が立地する淀川北岸部（淀川区、西淀川区）のほか、中央区、北区で多くなっています。

(単位:事業所、人)

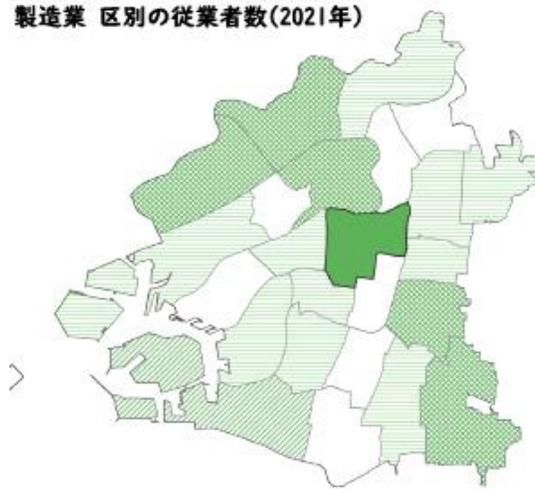
区名	事業所	従業者数	区名	事業所	従業者数
大阪市	14,860	191,643	東淀川区	328	5,898
北区	805	16,544	東成区	921	8,458
都島区	332	2,522	生野区	1,621	13,072
福島区	330	3,230	旭区	263	2,599
此花区	237	8,835	城東区	718	7,377
中央区	1,087	17,744	鶴見区	494	6,884
西区	731	7,056	阿倍野区	238	2,506
港区	438	3,664	住之江区	403	9,300
大正区	429	6,468	住吉区	191	1,508
天王寺区	365	3,634	東住吉区	620	5,685
浪速区	289	6,299	平野区	1,636	16,292
西淀川区	926	15,606	西成区	484	5,273
淀川区	974	15,189			

(総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」)

製造業 区別の事業所数(2021年)



製造業 区別の従業者数(2021年)



# 産業概要資料④

大阪市経済戦略局「大阪の経済2024年版」より抜粋

## 7-11. 製造品出荷額等の金額及び分野別構成比【2020年】

(単位:億円)

(単位:%)

区名	基礎素材型	加工組立型	生活関連型	合計	基礎素材型	加工組立型	生活関連型
大阪市	17,860	8,973	7,409	34,242	52.2	26.2	21.6
北区	511	455	427	1,393	36.7	32.6	30.6
都島区	87	40	180	307	28.4	13.0	58.6
福島区	104	44	150	298	34.8	14.7	50.5
此花区	3,146	1,155	109	4,410	71.3	26.2	2.5
中央区	173	59	552	784	22.1	7.5	70.3
西区	217	158	203	579	37.5	27.3	35.1
港区	245	132	667	1,043	23.4	12.6	63.9
大正区	2,107	423	180	2,710	77.7	15.6	6.7
天王寺区	15	25	187	227	6.5	10.9	82.5
浪速区	90	41	307	438	20.6	9.3	70.1
西淀川区	2,186	1,049	657	3,891	56.2	27.0	16.9
淀川区	1,574	1,468	394	3,437	45.8	42.7	11.5
東淀川区	1,079	222	393	1,693	63.7	13.1	23.2
東成区	465	263	341	1,069	43.5	24.6	31.9
生野区	1,332	260	490	2,082	64.0	12.5	23.5
旭区	139	42	80	261	53.4	15.9	30.7
城東区	586	209	420	1,215	48.2	17.2	34.6
鶴見区	1,418	228	188	1,834	77.3	12.4	10.3
阿倍野区	58	57	131	246	23.5	23.2	53.2
住之江区	850	1,683	476	3,010	28.3	55.9	15.8
住吉区	11	0	84	95	11.8	0.0	88.2
東住吉区	131	59	247	437	29.9	13.5	56.6
平野区	956	648	426	2,030	47.1	31.9	21.0
西成区	382	254	118	754	50.7	33.7	15.7

(総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業別集計(製造業)」)

(注)1. 各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

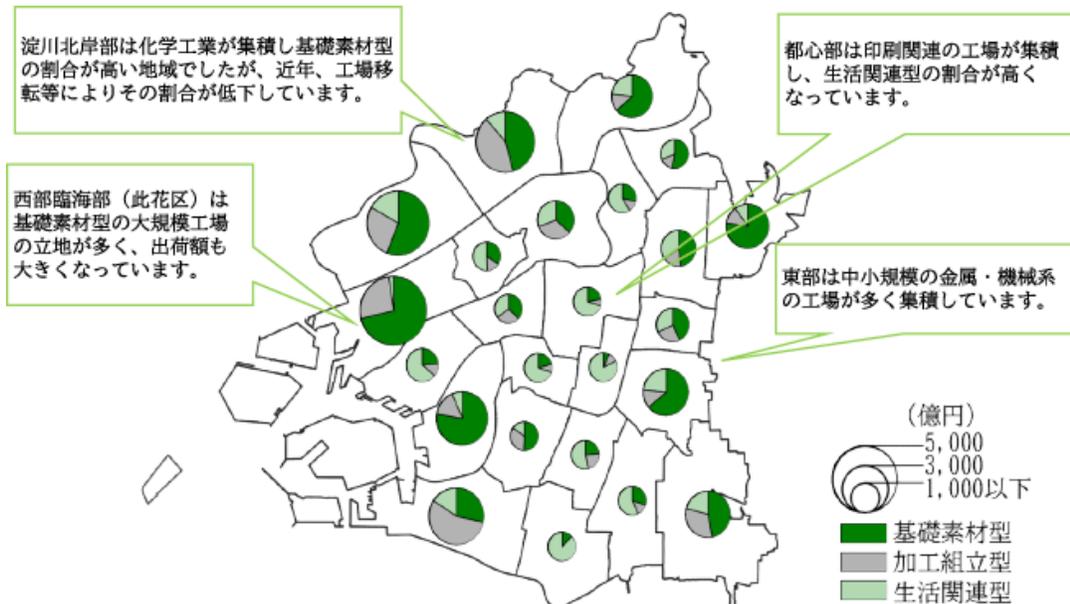
2. 対象は従業者数4人以上の事業所。 3. 2020年1月から12月までの値を使用する為、表題を2020年とした。

産業分類の詳細

<基礎素材型>木材・木製品、パルプ・紙・紙加工品、化学工業、石油製品・石炭製品、プラスチック製品、ゴム製品、窯業・土石、鉄鋼、非鉄金属、金属製品

<加工組立型>はん用機器、生産用機器、業務用機器、電子部品・デバイス・電子回路、電気機器、情報通信機器、輸送用機器

<生活関連型>食料品、飲料・たばこ・飼料、繊維、家具・装備品、印刷・同関連、なめし革・毛皮、その他



# 産業概要資料⑤

大阪市経済戦略局「大阪の経済2024年版」より抜粋

## 7-12. 卸売業における事業所数等の地域別シェア【2021年】

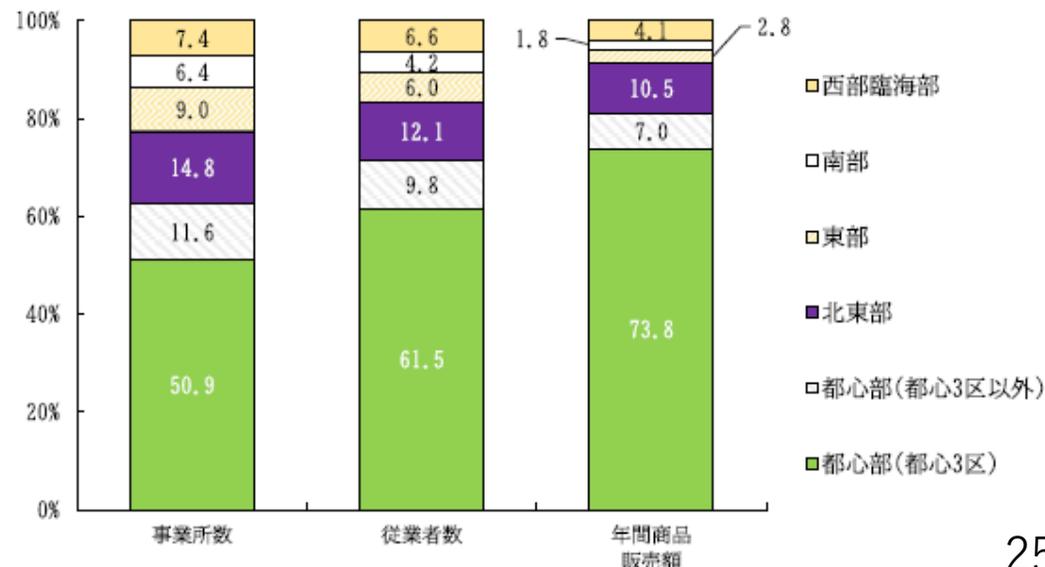
卸売業における地域別シェアをみると、都心部の中でも都心3区（中央区、北区、西区）に事業所数、従業者数、年間商品販売額が集中しています。

### 卸売業における事業所数・従業者数・年間販売額における地域別シェア（2021年）

（単位：カ所、人、百万円、%）

	事業所数	従業者数	年間商品販売額	シェア			
				事業所数	従業者数	年間商品販売額	
大阪市合計	21,580	311,168	35,600,294	100.0	100.0	100.0	
都心部	北区	2,746	57,345	10,732,341	50.9	61.5	73.8
	中央区	5,750	97,182	11,932,962			
	西区	2,485	36,771	3,622,838			
	天王寺区	593	5,715	301,695	11.6	9.8	7.0
	福島区	965	13,783	1,367,212			
	浪速区	939	10,958	815,327			
北東部	都島区	349	3,148	147,760	14.8	12.1	10.5
	淀川区	2,036	25,386	3,090,139			
	東淀川区	375	4,756	197,100			
	旭区	190	1,620	90,098			
東部	鶴見区	244	2,607	207,600	9.0	6.0	2.8
	城東区	371	3,670	179,095			
	東成区	541	5,941	432,542			
南部	生野区	517	3,342	126,503	6.4	4.2	1.8
	平野区	506	5,564	263,599			
	阿倍野区	325	3,461	127,805			
	住吉区	267	2,054	64,542			
西部臨海部	東住吉区	521	5,185	314,508	7.4	6.6	4.1
	西成区	266	2,216	119,855			
	西淀川区	352	5,806	366,781			
	此花区	180	2,084	202,254			
	港区	343	3,221	140,194			
	大正区	282	2,544	128,332			
	住之江区	437	6,809	629,210			

（総務省・経済産業省「2021年経済センサス活動調査」）



# 産業概要資料⑥

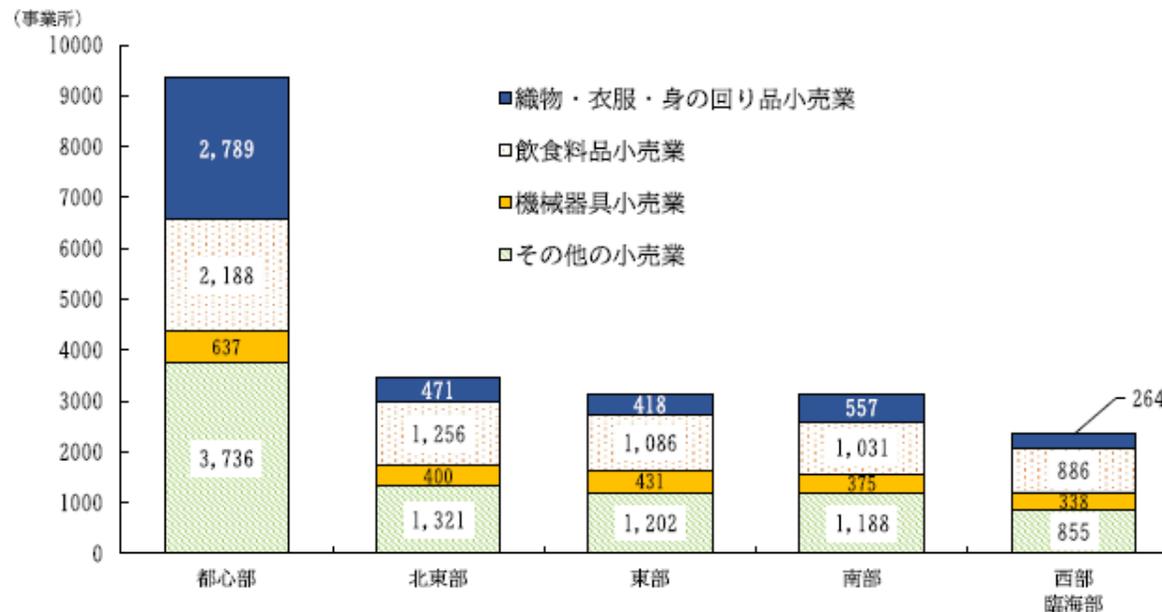
大阪市経済戦略局「大阪の経済2024年版」より抜粋

## 7-14. 小売業における産業中分類別事業所数(地域別)【2021年】

小売業について、地域別事業所数を業種別にみると「織物・衣服・身の回り品小売業」及び「その他の小売業（医薬品・化粧品、書籍・文房具、スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器など）」は、交通利便性の高い都心に集中しています。飲食料点小売業や機械器具小売業では地域間の差はそれほど大きくありません。

(単位：事業所)

		織物・衣服・身の回り品小売業	飲食料点小売業	機械器具小売業	その他の小売業
大阪市合計		4,499	6,447	2,181	8,302
都心部	北区	1,079	689	129	1,205
	中央区	1,108	699	142	1,315
	西区	211	250	96	355
	天王寺区	215	221	61	336
	福島区	54	174	54	196
	浪速区	122	155	155	329
		2,789	2,188	637	3,736
北東部	都島区	116	208	62	268
	淀川区	109	452	114	399
	東淀川区	61	241	78	237
	旭区	83	193	61	209
	鶴見区	102	162	85	208
		471	1,256	400	1,321
東部	城東区	66	198	80	265
	東成区	135	205	84	226
	生野区	114	365	117	341
	平野区	103	318	150	370
		418	1,086	431	1,202
南部	阿倍野区	262	286	82	367
	住吉区	80	230	87	283
	東住吉区	120	269	117	261
	西成区	95	246	89	277
		557	1,031	375	1,188
西部臨海部	西淀川区	35	163	79	150
	此花区	32	143	36	113
	港区	57	182	67	179
	大正区	48	150	56	147
	住之江区	92	248	100	266
		264	886	338	855



(総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」)

# 産業概要資料⑦

大阪市経済戦略局「大阪の経済2024年版」より抜粋

## 7-16. 区別商店街数【2022年度】

大阪市内の商店街数は2022年度末時点で413カ所となり、前年度末と同数となっています。区別にみると北区が54カ所で最も多く、次いで中央区、西成区、東住吉区の順となっています。全市のうち浪速区、鶴見区が2カ所ずつ減少するなど4区で減少する一方、北区を始めとして6区が1カ所ずつ増加となっています。

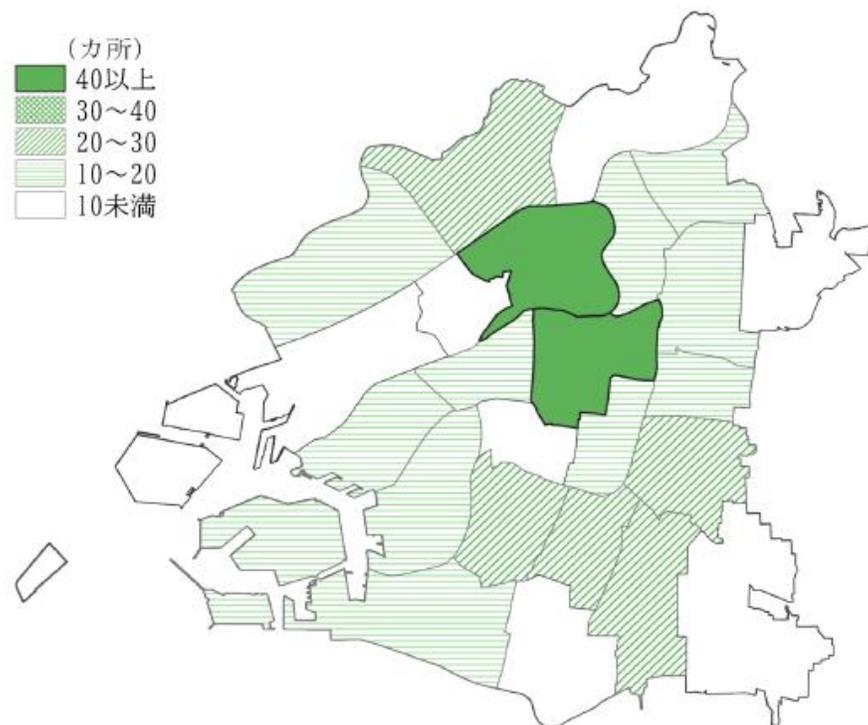
区名	商店街数
大阪市	413
北区	54
都島区	19
福島区	9
此花区	8
中央区	53
西区	13
港区	11
大正区	10
天王寺区	12
浪速区	8
西淀川区	10
淀川区	20

(注)2022年度末の数字。

(単位：カ所)

区名	商店街数
東淀川区	8
東成区	19
生野区	24
旭区	14
城東区	11
鶴見区	5
阿倍野区	22
住之江区	15
住吉区	9
東住吉区	25
平野区	5
西成区	29

(大阪市資料)



# 産業概要資料⑧

大阪市経済戦略局「大阪の経済2024年版」より抜粋

## 7-17. ビジネス支援型サービス業の別従業員数【2021年】

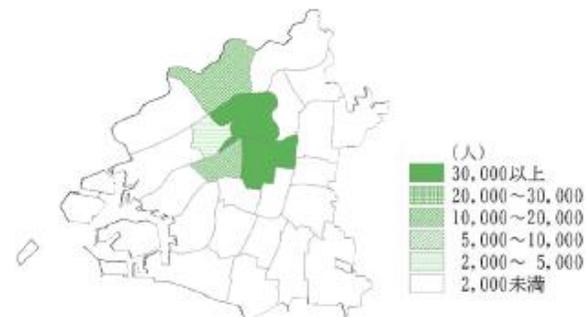
ビジネス支援型サービス業の従業員数について区別にみると、企業の本社等が集積する都心部（北区、中央区）で多くなっています。

(単位：人)

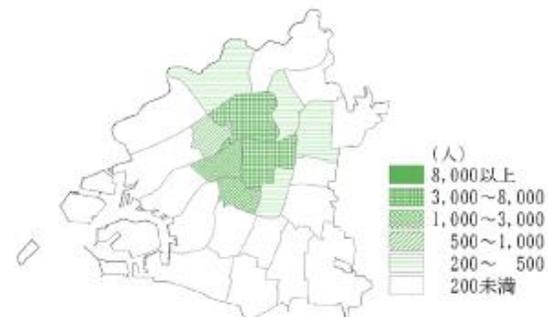
区名	情報サービス業	映像・音声・文字情報制作業	専門サービス業(他に分類されないもの)	広告業
大阪市	102,564	16,437	61,513	11,982
北区	31,453	7,532	22,488	5,598
中央区	35,035	3,636	22,151	2,477
西区	12,159	1,576	3,669	1,365
天王寺区	351	359	2,266	598
福島区	2,433	817	742	182
浪速区	1,437	1,011	912	222
都島区	588	218	787	103
淀川区	14,388	420	4,178	925
東淀川区	381	81	341	79
旭区	99	6	178	9
鶴見区	37	10	56	52
城東区	241	234	416	22
東成区	145	130	290	72
生野区	59	37	205	-
平野区	59	7	357	54
阿倍野区	179	36	852	36
住吉区	95	138	355	26
東住吉区	47	57	387	14
西成区	54	25	122	63
西淀川区	423	38	164	39
此花区	404	24	102	-
港区	1,282	14	142	10
大正区	46	12	76	7
住之江区	1,169	19	277	29

(総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」)

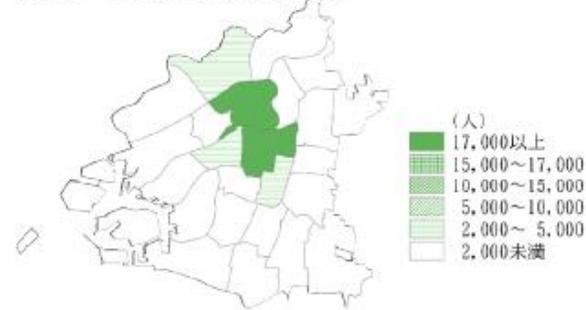
情報サービス業の別従業員数



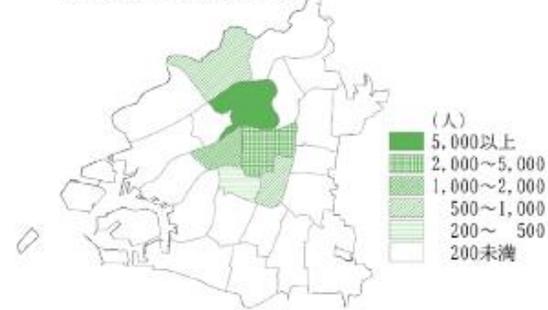
映像・音声・文字情報制作業の別従業員数



専門サービス業の別従業員数



広告業の別従業員数



# 産業概要資料⑨

大阪市経済戦略局「大阪の経済2024年版」より抜粋

## 7-18. 生活支援型サービス業の別業種別従業者数(人口100人当たり)【2021年】

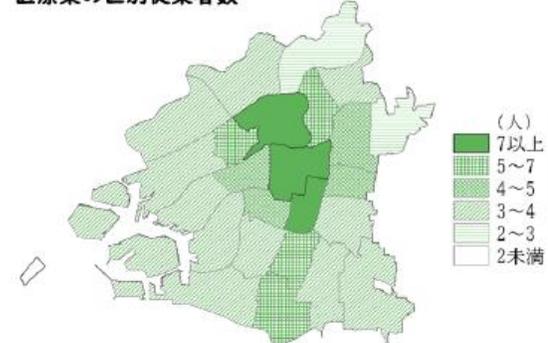
生活支援型サービス業について区別にみると、娯楽業などの一部の業種を除いて、都心部に集中せず、概ね市域全体で事業展開している点がビジネス支援型サービス業と異なっています。娯楽業は都心部に加えて、大型テーマパークが立地する此花区の従業者数が多くなっています。

(単位:人)

区名	医療業	社会保険・社会福祉・介護事業	娯楽業	飲食店	人口
大阪市	4.63	3.88	0.96	5.40	2,750,835
北区	10.27	4.11	3.22	27.76	140,706
中央区	10.65	6.06	3.84	29.16	107,004
西区	4.72	3.06	0.62	6.49	106,917
天王寺区	9.24	3.90	1.02	7.61	83,087
福島区	6.04	3.29	0.59	6.08	79,844
浪速区	4.33	2.88	1.37	6.04	76,863
都島区	5.75	2.54	0.59	4.56	107,838
淀川区	3.11	2.78	0.62	4.35	183,450
東淀川区	2.65	3.49	0.41	1.98	176,039
旭区	3.24	4.58	0.25	1.82	89,208
鶴見区	2.54	3.11	0.35	2.52	112,219
城東区	4.02	2.72	0.35	1.56	168,762
東成区	4.56	3.89	0.43	2.56	85,175
生野区	3.73	5.01	0.22	2.07	126,664
平野区	3.09	4.07	0.35	1.79	190,166
阿倍野区	6.37	4.04	0.79	5.27	111,296
住吉区	5.10	4.49	0.23	1.79	152,472
東住吉区	3.58	5.80	0.27	2.05	127,277
西成区	3.33	5.94	0.49	2.35	105,446
西淀川区	3.69	3.18	0.18	1.72	95,572
此花区	3.01	3.12	7.07	3.38	64,764
港区	3.05	3.57	0.44	2.53	79,978
大正区	3.32	4.13	0.17	2.20	61,356
住之江区	3.46	3.47	1.97	2.46	118,732

(総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」、大阪市「2021年推計人口」)

医療業の別業種別従業者数



社会保険・社会福祉・介護事業の別業種別従業者数



娯楽業の別業種別従業者数



飲食店の別業種別従業者数

